

11.12 感謝の集いを開催しました

いわき芸術文化交流館アリオス

ボランティアさん
ありがとう!約400名もの
ボランティアさん
が参加!

これからも力を合わせて頑張りよう!

3月11日に発生した大地震、津波、原子力発電所の事故、さらには大規模な余震などにより、本市は未曾有の大震災に見舞われました。あれから9ヶ月になろうとしております。これまで延べ5万人に及ぶボランティアの皆様がいわき市のために、そして被災者のために、汗を、ときには涙を流してくれたことに、心より改めて感謝申し上げます。

今後も、被災された方々の生活再建に向けた相談・支援体制をさらに強化し、市民一人ひとりに寄り添う支援をして参りたいと思います。

いわき市
社会福祉協議会だより
臨時号

ボランティアさんへの感謝の意と復興に向けた決意を述べる渡辺市長



▲会場の様子

公園での炊き出し▼



「今だから言える『あんなこと、こんなこと』」と題し、ボランティアさんたちによるパネルディスカッションが行われました。



ボランティアさんから寄せられた 声 のコーナー

- みんなが笑顔になるまで、応援していきます！一緒に頑張りましょう。
(和歌山県・男性・50代)
- ボランティア活動を通して私たちの間には確かな気持ちの繋がりができたと確信しています。この繋がりをずっと大事にしていきたいです。
(東京都・男性・40代)
- いわきの皆さんのあたたかさに触れ、逆に私たちの方が元気をもらいました。いわき最高です。
(埼玉県・女性・20代)

全国各地からいわき市のためにたくさんのボランティアさんが力を貸してくださり、温かいお言葉もいただきました。職員一同感謝申し上げます。



写真上映会では、ボランティアの活動写真も紹介され、涙が止まりませんでした。
沿岸部でのガレキ撤去の様子。ボランティアの皆さんの手で、一つひとつきれいになっていきました。



ボランティアセンターに欠かせない「軽トラック」をイメージしてデザインした缶バッジ

こんにちは！私たちが生活支援相談員です



高久第一応急仮設住宅と内郷雇用促進住宅に被災された皆様自らが自治会を立ち上げました。私たちも市や地元の方々とともに自治会立ち上げに協力させていただきました。

今後も地元の方々とは協力しながら被災された皆様の支援に取り組んで参ります。

具体的には

- 訪問による見守りや相談
- 各種福祉サービス等の情報提供
- 地域の交流の場づくり(サロン・イベントの開催) など

仮設住宅等で生活している被災された方のお宅に伺い、困りごとや悩み事の相談を受けております。
お気軽にご相談ください。「連絡先」いわき市復興支援ボランティアセンター(TEL) 〇二四六―三三八―六六三三」

《《 私たち生活支援相談員は 》》

ボランティア講座案内

① 地域災害ボランティア養成講座

大規模災害が起きた時、組織だってどのような対応をするのが適切なのか、冷静かつ迅速な対応ができるような仕組みを学びます。

実施日：第1回目 1月25日(水)
第2回目 2月1日(水)

定員：30名

※2回とも講習の内容は異なります。

② ボランティア入門講座

ボランティア活動のきっかけ作りにぜひご参加ください。

実施日：1月27日(金)
定員：100名

※両講座とも、締め切りは1月13日(金)になります。
ふるってご参加ください。

※詳しくはボランティア活動センター

☎ 0246-23-3320 (代) まで。



相談員による訪問の様子



仮設住宅でお茶を飲みながら交流

イベントの様子



仮設住宅で編み物教室



雇用促進住宅で沖縄からのエイサーを楽しむ

助成金

いわき市復興支援のため、本会ボランティアセンターの運営に多額の助成をいただきました。

- ▶ 朝日新聞厚生文化事業団 様
- ▶ 三菱商事株式会社 環境・CRS 推進部 様
- ▶ 公益財団法人 大和証券福祉財団 様
- ▶ 福島県共同募金会 様

その他団体・個人の方々からもたくさんのご支援をいただきました。ここに感謝申し上げます。

いわき市 復興支援ボランティアセンター (いわき市社会福祉協議会)

◆ 問合せ時間：午前9時～午後5時

◆ 電話：0246-38-6631

◆ FAX：0246-38-6632



社協だより 臨時号

社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会 広報委員会

いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内) TEL 0246-23-3320/FAX 0246-35-5031

ホームページ：www.iwaki-shakyo.com メールアドレス：master@iwaki-shakyo.com